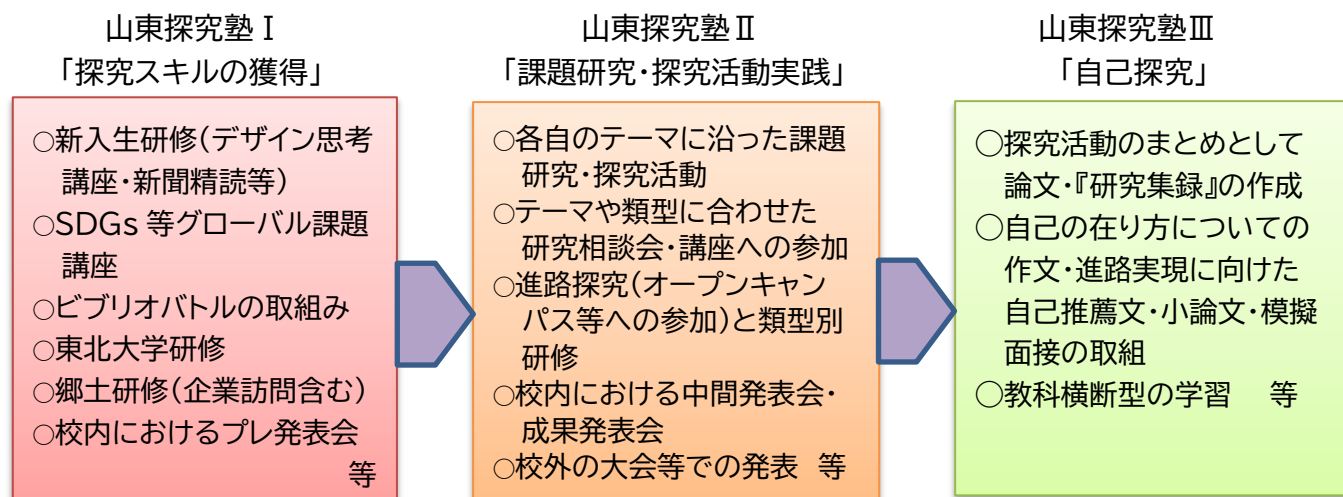


山東探究塾について

山形県立山形東高等学校

「山東探究塾」（本校における「総合的な探究の時間」の名称）では、1年次から3年次までの3年間、主体的・協働的で深い学び（探究型学習）による様々な教育プログラムを通して、将来、地域や国内外の課題を解決できる資質・能力の育成を目指している。これは、自己の在り方生き方を考える「キャリア教育」と一体的で不可分な学習である。



*「山東探究塾Ⅰ」では、「情報Ⅰ」の授業と連動させながら、探究活動や課題解決に必要な幅広い多様な視野を持つとともに、探究スキルの獲得を目指す。

*「山東探究塾Ⅱ」では、生徒全員が各々テーマを決めて、グループや個人で教科横断的な課題解決型学習に取り組む。テーマは自身の進路や興味関心、適性に合わせて設定し、実践に当たっては、高等教育機関、行政機関、企業、団体・個人等の指導助言も受けながら、外部と協働した取組みを行っている。また、成果を校内外に発信することにより、生徒のさらなる挑戦への意欲が喚起されることを企図している。理数探究科と国際探究科は、普通科と比べ1単位多く履修するとともに、国際探究科は英語発表にも取り組む。

*「山東探究塾Ⅲ」では、2年次までの探究活動成果をまとめ、自己実現に向けた自己探究の活動に取り組む。

山東探究塾の特徴

- ◇伝統の65分授業と授業中心主義による教科・科目の学習にも探究型学習を取り入れて授業を展開し、山東探究塾に好影響を与えている。
- ◇ICTやGoogle Workspaceを活用しながらより効果的・効率的に展開している。
- ◇総合的な探究の時間のみならず、LHR（HR活動）や教科「情報」の授業も連動させながら実施している。
- ◇連携協力機関をはじめ、地域の団体・個人の他、サポーターと呼ばれる多くの専門家・協力者の支援を得ている。

